

●●●シンポジウム「21世紀にっぽんの男女共同参画」

国会での議論状況，国際社会からみた日本の課題を検証

2005年12月10日，両性の平等に関する委員会は，男女共同参画シンポジウム「21世紀にっぽんの男女共同参画」を，弁護士会館クレオにて開催した。

●男女共同参画社会基本法施行から早6年 …日本の現状は？

男女が，性別にかかわらず，その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を，21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置づける男女共同参画社会基本法は，1999年に施行された。

今，日本社会において男女共同参画社会はどの程度実現されているのだろうか。

本シンポジウムでは，自由民主党の柴山昌彦衆議院議員及び民主党の小宮山洋子衆議院議員に，国会における議論の現状について討論していただいた後，国連女性差別撤廃委員会委員である申蕙秀氏に，国際社会からみた日本の課題について，講演をいただいた。

●国会議員を対象としたアンケート調査の報告

基本法に基づいて男女共同参画基本計画が策定され，男女共同参画社会の実現に向けて着実に進んでいく動きがある一方，行き過ぎた性教育と「ジェンダー・フリー」を結びつけるなどして基本計画（ひいては基本法）自体を見直そうという動きがある。

また，憲法改正の議論の中で，憲法24条の見直し提案された経緯もあり，現在では，24条の見出しにつき，「家庭生活における個人の尊厳と両性の平等」（六法上の見出し）から「婚姻及び家族に関する基本原則」（正式な法文の見出し）に変更する案が提案されている。

そこで，当委員会は，日本の国づくりを担う国会議員が，男女共同参画社会基本法及び憲法24条についてどのように考えているのかを把握するため，シンポジウムに先立ち，国会議員全員を対象にアンケート調査を実施した。

シンポジウムでは，基調報告を兼ねてアンケート調査の結



果報告・分析を行なった。このアンケート結果については，東弁のHP (<http://www.toben.or.jp/ryosei/>)にも掲載されているので，是非参照していただきたい。

●政治家によるクイック討論

次に，中川明子委員をコーディネーターに，柴山議員，小宮山議員による討論が行なわれた。

性教育，性的自己決定，アンケート結果を踏まえた上での男女共同参画社会基本法，憲法24条等に関し，各党の見解及び各議員の意見が表明されたが，両党とも，男女共同参画を推進していこうという方向では一致していることが明らかになった。

●講演

引き続き，申氏による講演が行なわれた。北京行動要領，女性差別撤廃条約，2003年に女性差別撤廃委員会が日本政府に出した勧告について説明があり，日本のNGO団体の活動は他の国と比較しても活発であるのに，先進国の中で女性の地位が低いのはなぜか，との指摘があった。最後は，弁護士会に男性たちの家事への参与，育児休暇申請，女性に対する暴力追放運動の求心力としての役割を期待すること，各グループが連帯し大きな社会勢力となって，バックラッシュを克服してほしい，との力強いメッセージで締めくくられた。

（両性の平等に関する委員会委員 野竹 夏江）

●●● 2006 年度東弁役員等選挙／日弁連会長選挙

次期東弁会長に吉岡桂輔会員，日弁連会長は平山正剛会員

●東弁役員等選挙

2006 年度東弁会長，副会長，監事，常議員及び日弁連代議員の選挙が 1 月 30 日に告示され，2 月 10 日に投票が行なわれた。会長，副会長，監事，および日弁連代議員は定員を超えず無投票となった。常議員が定員 80 人に対し 81 人の立候補があり投票となった(写真)。有権者数は 4845 人で，投票率は 78.29%であった。

東弁役員選挙結果

【会長】無投票当选

吉岡 桂輔 (24 期)

【副会長】無投票当选／届出順

石鍋 毅 (43 期) 並木 政一 (31 期)

木下 秀三 (31 期) 淵上 玲子 (35 期)

佐瀬 正俊 (32 期) 篠塚 力 (36 期)

【監事】無投票当选／届出順

桑原 育朗 (39 期) 木村 雅行 (38 期)

* 常議員，日弁連代議員氏名は LIBRA4 月号に掲載予定



●日弁連会長選挙

同日に行なわれた日弁連会長選挙には，平山正剛候補，高山俊吉候補（以上，東弁所属）および久保利英明候補（二弁所属）の 3 人が立候補した。東京投票区（東弁区）および全国 52 弁護士会の即日開票の仮集計得票数順は，平山候補，高山候補，久保利候補であった。

2 月 17 日の日弁連選挙管理委員会で平山候補が次期日弁連会長に決定した。